▼タイトル▼

助動詞　基礎

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I think you ［　　　］ have studied a lot because you passed the entrance exam.  
  
（亜細亜大）

▼選択肢▼

① should

T② must

③ can

④ ought

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「私が思うに、入学試験に合格したのだから、あなたはずいぶん勉強したにちがいない。」  
推量を表す助動詞の意味のちがいを覚えて、しっかり使いわけられるようにしておこう。本問は、完了形といっしょに使って、過去の事柄についての推量を表す用法。  
〈should[ought to] have＋過去分詞〉「～すべきだったのに（実際にはしなかった）」  
〈must have＋過去分詞〉「～したにちがいない／～だったにちがいない」  
〈cannot[can’t] have＋過去分詞〉「～したはずがない／～だったはずがない」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

We ［　　　］ to hurry. There are still thirty minutes before the train leaves.  
  
（札幌大）

▼選択肢▼

① must not

② had better not

T③ don’t have

④ don’t get used

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「急がなくていい。列車が出発するまでまだ30分ある。」  
空欄のあとに不定詞〈to＋動詞の原形〉がつづいているので、①・②は不適切。２文目に「まだ30分ある」と書かれているので、don’t have to ～「～する必要がない」を使うと文意が成り立つ。  
④は〈get used to＋動詞のing形〉で「～に慣れる」という意味になる。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I ［　　　］ often play catch with my father when I was a child.  
  
（名古屋学院大）

▼選択肢▼

① had

② have

T③ would

④ should

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「子どものころは，よく父とキャッチボールをしたものだ。」  
過去の習慣を表す助動詞would (often)「（以前は）よく～したものだ」  
類似表現のbe used to「（以前は）よく～したものだ／（以前は）～だった（が、今はちがう）」とのちがいに注意。be used toは動作動詞・状態動詞のどちらにも使えるが、would (often)は動作動詞にしか使えない。  
〇　There used to be a church on the hill.  
×　There would (often) be a church on the hill.  
　（以前は丘の上に教会があった。）

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Kenta ［　　　］ cycle 10 kilometers to college when he was a student.  
  
（南山大）

▼選択肢▼

T① would

② shall

③ might

④ should

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「ケンタは学生のころ、大学までの10キロメートルの道のりを自転車で通っていた。」  
過去の習慣を表す助動詞would (often)「（以前は）よく～したものだ」  
類似表現のbe used to「（以前は）よく～したものだ／（以前は）～だった（が、今はちがう）」とのちがいに注意。be used toは動作動詞・状態動詞のどちらにも使えるが、would (often)は動作動詞にしか使えない。  
〇　There used to be a church on the hill.  
×　There would (often) be a church on the hill.  
　（以前は丘の上に教会があった。）

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

They ［　　　］ not to worry about this matter.  
  
（立命館大）

▼選択肢▼

① are better

② may

T③ ought

④ should

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「彼らはこの問題について心配すべきでない。」  
notの後ろのtoに注目しよう。  
ought to「～するべきだ」（＝ should）の否定形はnotの位置に注意。  
ought not to「～すべきでない／～しないほうがよい」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

That’s important information, so ［　　　］ Julia to tell her as soon as we arrive at the hotel.  
  
（宮崎大）

▼選択肢▼

① I called

② I’d call

T③ I’ll call

④ I would’ve

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「これは重要な情報だから、ホテルに着いたらすぐに、ジュリアに伝えるために彼女に電話しよう。」  
文の後ろにas soon as we arrive at the hotel「私たちがホテルに到着次第」とあるので、ジュリアに電話をかけるのは未来のことだとわかる。**未来**を表すときは助動詞willを使う。  
〈as soon as＋主語＋動詞〉「～するとすぐに」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

You ［　　　］ home as soon as possible.  
  
（－）

▼選択肢▼

① had better to go

T② had better go

③ have better to go

④ have better go

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「できるだけ早く帰宅したほうがいいぞ。」  
had betterは「～したほうがよい」という意味。had betterのかたまりで１つの助動詞として覚えておこう。なお、had betterは威圧的な表現なので、ふつう目上の人には使わない。本問は、親が子どもに対して忠告している場面を思いうかべるといい。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

We ［　　　］ to think about the future of our country.  
  
（－）

▼選択肢▼

① may

② should

③ must

T④ ought

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「私たちは自国の未来について考えるべきです。」  
空欄の直後のtoに注目。  
ought to「～すべきだ」＝ should

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I would ［　　　］ live alone for the rest of my life.  
  
（－）

▼選択肢▼

① like

② better

③ have

T④ rather

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「残りの人生はひとりで暮らしたい。」  
would ratherで「（むしろ）～したい」という意味。この表現は、would rather ～ than …「…するよりも（むしろ）～したい」のthan … が省略されたもの。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

The farmer pulled on the rope, but the horse ［　　　］ move.  
  
（－）

▼選択肢▼

① would

T② wouldn’t

③ will

④ won’t

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「農夫はロープをぐいっと引っぱったが、馬はなかなか動こうとしなかった。」  
助動詞willには**主語の強い意志**を表す用法があり、否定形のwill[would] notで「（なかなか）～しようとしない〔しなかった〕」という意味になる。本問では、The farmer pulledの時制に合わせて過去形を使う。